鉄スクラップの日特集

品質問題に危機感

業界全体で解決に尽力

日本鉄リサイクル工業会は先月16日、神戸市のポートピアホテルで第44回通常総会と関西支部主管の第31回全国大会を開催した。全国大会には過去最多の700人超が参加するなど、鉄スクラップ業界は中国の雑品スクラップ輸入禁止を発端とした品質問題、ダスト処理といった大きな課題を抱える中、現状の課題認識や情報共有などを図る貴重な機会となった。令和最初の会長に選任された伊藤弘之会長（大成金属社長）新体制の下、さまざまな課題解決に向けて業界を挙げて取り組む。

■鉄スクラップ品質問題の早期解決を

鉄スクラップ業界は雑品問題に伴う鋼材品質への影響懸念、ダスト処分場の逼迫（ひっぱく）など昨年来の課題は積み上がっている。なかでも鉄スクラップ品質問題は喫緊の課題の一つ。国内だけではなく、海外の鉄スクラップ需要家からも品質改善を訴える声が増えているためだ。

国内では中国規制強化などで17年秋ごろから雑品スクラップ由来とみられる非鉄金属が電炉メーカーの購入する鉄スクラップへと混入するケースが目立ち始め、電気炉でスクラップを溶解する製鋼工程でミスチャージが増加。製鋼設備への直接的な被害も一部あった。18年末からは中国が雑品スクラップ輸入を禁止しており、電炉メーカー各社はさらに警戒感を強めている。

海外でも日本の鉄スクラップの品質懸念は広がっている。日本はアジアの鉄スクラップ輸出マーケットで、米国などと並ぶ供給国だが、「ダストなどの不純物が多い」（ベトナム電炉関係者）との声が聞かれる。

先月15日に総会・全国大会の前日イベントとして神戸市で開催された「国際鉄リサイクルフォーラム」では、パネリストとして登壇した韓国鉄鋼協会（KOSA）のシン・グァン・セブ室長が「日本、米国、ロシアなど海外から輸入される鉄スクラップに水準を上回るダストや非鉄など異物の混入が増え、品質が低下している」と指摘した。

工業会では支部単位での品質改善などに向けた取り組みが広がっており、伊藤会長は総会で「今後は鉄スクラップの品質向上に向け、早期に特別委員会の立ち上げを検討する」ことを明言。全国大会後の懇親会でのあいさつでは「われわれが扱うスクラップの品位を高め、業績・業容の向上を目指さないと将来はない」と述べるなど、品質問題については危機感をもって取り組む必要がある。

■雑品スクラップの「国内回帰」に立ち向かう

全国大会のあいさつに立った木谷謙介副会長兼関西支部長（シマブンコーポレーション社長）は「われわれの業界はさまざまな課題に直面しているが、昨年の大課題が今年の課題ですらなくなる一方、新たな大課題が発生するといっためまぐるしい変化にさらされている」と述べた通り、業界を取り巻く環境や突きつけられる課題は刻一刻と変化している。雑品スクラップ問題がその一つだ。

中国政府が昨年末に雑品輸入を禁止する一方で、日本国内では昨年10月、同年4月に施行された改正廃掃法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）の届出申請等の猶予期間が終了するとともに、改正バーゼル法（特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律）が施行された。法整備で規制が強化され、国内では雑品輸出業者が市場から撤退する動きが出るとともに、中国や日本のリサイクル企業が日本国内で雑品の解体・選別・分別を強化する動きが出始めている。

これらを受けて破砕機等の設備導入、既存設備の活用としてシュレッダープラントによる処理が期待される中、雑品がはらむ火災リスクや破砕・選別工程で大量に発生するダスト処分という大きな課題に直面している。鉄リサイクリング・リサーチの林誠一社長も国際フォーラムで、①シュレッダー投入後のダスト処理問題②スクラップ事業者での在庫保管時の火災③電炉向けヘビーへの非鉄混入による品質悪化といった、3つの問題を挙げた。さらに林氏の試算によると、17年の雑品輸出量160万㌧の80％をシュレッダーに投入した場合、40万㌧のダストが発生するという。一方でギロチン加工処理にまわせば、さらなる品質悪化を招く恐れがあるとしている。

雑品スクラップは社会問題となりつつある廃プラスチックの問題と大きな差はない。輸出できず、国内に雑品スクラップが滞留すれば火災リスクがさらに高まる上、不法投棄につながるなど一般社会へ影響を及ぼす可能性があるためだ。国内での雑品リサイクルスキーム構築に向けては鉄スクラップ業界が中心となり、行政や電炉メーカーなどさまざまな関係各所へ積極的に働きかけ、課題解決を目指すことがさらなる社会的評価の向上、業界のレベルアップにもつながるだろう。

他リサイクルの指導的立場に

サイクルの指導的立場に

兵庫県知事
井戸敏三氏

「ここ神戸で日本鉄リサイクル工業会の通常総会と全国大会が盛大に開催されたことを心から歓迎する」と祝辞を述べたのは井戸敏三・兵庫県知事。先月16日、神戸市のポートピアホテルで行われた関西支部主管の全国大会で、来賓を代表してあいさつに立った。

▽…井戸知事は「子どものころ、社会の授業で製鉄には鉄スクラップが必要不可欠であり、米国から相当量輸入されていると習った覚えがある」と振り返り「1990年代から輸入よりも輸出が増え、今では輸出が当たり前と聞く」とした上で「リサイクルに適したスクラップであれば問題ないが、雑品スクラップなるものが『大変始末が悪い』ようだ」と話す。

▽…雑品スクラップは中国が2018年末で輸入を禁止し、次の向け先とされているマレーシアについても政府が環境面などへの影響懸念から雑品スクラップなどの廃棄物の輸入時の検査・取り締まりを強化している現状を踏まえ、「この問題は廃プラスチックの問題と良く似ている」と指摘。中国や東南アジアではリサイクルに適さない汚れの目立つ廃プラが輸出されて大きな問題となっており、「雑品スクラップも廃プラも日本国内で適正に処理せざるを得ない状況となっているのでは」との私見を述べた。

▽…一方、鉄スクラップについては「兵庫県でも99％リサイクルされている。業界のご尽力が成果として表れている」と謝辞を述べ、あいさつの締めには短歌を送った。

日本の
生活支える鉄材の
リサイクル担うは
工業会

「工業会の皆さんが鉄のリサイクルにしっかり取り組んでもらうことにより、他のリサイクル分野への指導的立場で臨んで頂ければ」と期待する。

ナベちゃんと呼んでください！

7月1日は「鉄スクラップの日」
資源循環型社会の発展を支える有力企業
Recycle

金属リサイクル特集 2019

鉄筋コンクリート用棒鋼
KISI-CON
鉄筋力。
岸和田製鋼株式会社
http://www.kishi-seiko.co.jp/
〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町20番地 TEL.072-438-0001 FAX.072-438-0892

Circular Economy Company
株式会社 YAMANAKA
本社 〒212-0012 神奈川県川崎市幸区中幸町3-3-1
TEL:044-522-1161（代表） FAX:044-522-1188
国内19工場 川崎・横浜・大和・綾瀬・相模原・多摩・市原・戸田・栃木・騎西・白井・高崎・寄居・仙台・小名浜・山形・北上・秋田・郡山
海外2工場（タイ）YAMANAKA International co.,ltd Gateway・Rojana

シュレッダー、Mixメタル
基盤、銅、砲金、真鍮、
非鉄バルブ、メーター器、
モーター大・小、処理収集。
JEN 田口金属
古河工場
茨城県古河市丘里14-1（丘里工業団地）
TEL0280(98)1177 FAX0280(98)4684
http://www.taguchi-metals.com
本社 03(5386)1000 丘 里 0280(98)1151
筑波 0297(43)7800 古河丘里 0280(98)1234

Recycling
REVER
REVER HOLDINGS CORPORATION
株式会社 鈴徳
メタルリサイクル株式会社
中田屋株式会社
サニーメタル株式会社
フェニックスメタル株式会社
NNY株式会社
イツモ株式会社
株式会社 新生
リバーホールディングス株式会社
https://www.re-ver.co.jp/

OKAYA & CO.,LTD.
グローバル
最適調達パートナー
岡谷鋼機株式會社
本社／名古屋市中区栄2-4-18 〒460-8666
http://www.okaya.co.jp/

建てるのは、未来。

エムエム建材
https://www.mokmbs.com
エムエム建材株式会社 〒105-7117 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター 17F・18F
エムエム建材グループ
■エムエム建材販売株式会社 ■株式会社ワテックス北海道
■三鋼販東日本株式会社 ■三鋼販西日本株式会社
■エムエム建材エンジニアリング株式会社